

医療法人 福生会 斎藤労災病院

まごころ

日本医療機能評価機構認定病院
 人間ドック・健診施設機能評価認定病院
 労働衛生サービス機能評価機構認定病院
 労災二次健康診断等給付指定医療機関

平成21年の冒頭にあたり



院長 寺林 秀隆

新年明けましておめでとうございます。
 皆様方には新しい年をお健やかに迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。また、皆様には日頃から当院の診療、健診などの諸活動に對しまして、ご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年一年の活動はと振り返りますと安全管理の一言に尽きると思います。

それと申しますのも当院は提供させて頂いているサービス全てを外部機関により評価して頂く方針で活動しており昨年7月に病院機能評価12月に人間ドック機能評価の再認定作業がありましたからです。この過程において設備面ではCTの高速化を推進し、レントゲンフィルムのデジタル管理も進めました。管理面では各種委員会活動を積極的に展開し、連携強化を図りました。人間ドックは2月の結果待ちですが、病院機能評価は再認定されておりこの事は外部機関にて当院の機能、サービスが高い評価を受けた結果と考えております。

実際の活動におきましては、まず健康診断業務関連ではより多くの受診者の方々にご利用頂きましたし、昨年4月の法改正による特定健康診断・保健指導の導入においても各企業の皆様のご要望に適宜対応可能でありました。今年度は特定健診の実績が求められる年になると思われませんが、その準備も整え皆様のご期待に添えるようにしております。

診療面でもより多くの外来受診者の方々に接する事ができましたし、入院関連でも多くの患者さんのお世話をさせて頂き、療養病棟ではほぼ100%の病床利用率でありました。

今年5月には隣接地に有料老人ホーム「あんしんかん」を開設いたします。このホームの完成により比較的医療度の高い方々に加療期間を気にする事無く継続的な介護・援助を提供できる事になり当院の提供いたしますサービス内容の充実繋がるものと確信致しております。

いずれにいたしましても昨年一年間の皆様のご理解・ご支援の賜物と感謝致しております。今年も職員一丸となり皆様の健康管理に少しでも役立つべく尽力して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。患者さん、受診者の皆様、各事業所、関係各位の皆様方の今年一年のご多幸とご発展をお祈り申し上げます。

目次：

院長よりご挨拶	1
日本医療機能評価の再認定	2
防災を考える	2
有料老人ホームのOPENについて	3
平成20年度医療安全強化週間	3
部署紹介 ～施設管理課～	3
患者さんに知って欲しい医療用語集	4

本年5月にOPEN予定「あんしんかん」



本年も～よろしく～お願いします。



日本医療機能評価の再認定を頂きました

平成20年11月8日付けで当院は第三者機関である日本医療機能評価機構の更新認定を受審し、認定証の交付を受ける事ができました。

この認定は病院業務全体の機能について、質の高い医療が提供できているかどうか客観的にチェックを行い、全ての項目について一定水準以上にあると認められた病院に認定証が発行されるものです。5年に一度、更新を求められ、5年前に初回認定を受けた当院は、初めての更新作業に挑みました。

前回の受審の際には、質の高い医療を行なう為のマニュアルや組織がある事が最優先で審査されましたが、今回は更新なので、そのマニュアルが実際に活かされているか、組織は

連携して機能しているか、精度管理はその質を維持しているかを中心に審査されました。評価の領域をご紹介すると、病院組織の運営と地域における役割、患者の権利と安全確保の体制、療養環境と患者サービス、医療提供の組織と運営、医療の質と安全のためのケアプロセス、病院運営管理の合理性、療養病床に特有な病院機能、以上7領域（精神科領域除く）、約600項目に及び審査項目をクリアすることができました。

今回いただいた結果に満足するのではなく維持、改善が続けられるように努力しなければならないと考えています。当院に対し、皆様方からのご意見をいただければ幸いです。



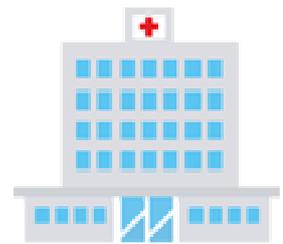
現在、全国で2533病院が認定されています

現在、この評価を受けている病院は全国で2,533病院（2008年11月30日現在）あります。全国に病院はおよそ9000施設ありますので30%弱の病院がこの評価を受けている事になります。医療機関が、地域や患者さんの要望に適切に応えるためには、明確な組織理念の設定、院内組織の整備、医療サービスの質についての検証など解決すべき問題は多々有り、また自らの位置付けを客観的に知るためにも第三者（病院・患者以外の）による評価が必要です。最近では患者さんが受診する病院についての情報を知りたいという要求も高まってきています。

1995年に設立された（財）日本医療機能評価機構は、医療機関の第三者評価を行うとともに、その改善を支援することを目的とし

ています。2年間の運用調査を経て、1997年から病院機能評価が行われています。病院機能評価は、病院の自発的な申し込みに基いて行われます。病院の状況を一定の書式に記した書面に基く書面審査と、サーバイヤー（評価調査者）が実際に病院に出向いておこなう訪問審査からなり、その結果医療サービスを提供する体制が一定の基準を満たしていると判断された場合には認定が行われます。認定の有効期間は5年間です。

当院の次の更新は2013年11月です。次の審査にも認定されるように日々の積重ねを行なっていきます。宜しくお願い致します。



防災を考える

1月17日は「防災とボランティアの日」、1月15日～21日は「防災とボランティア週間」

●1月17日は「防災とボランティアの日」

1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災にちなんで制定されたものです。

被災地では、様々な分野でのボランティア活動や、住民の自主的な防災活動が、復旧への重要な役割を果たしました。

「防災とボランティアの日」は、ボランティア活動への認識を深め、災害への備えの充実強化を図ることを目的とし、阪神・淡路大震災の翌年1996年から実施されています。

●ボランティア活動

災害が発生したとき被災地では、行政では手の届かない被災者のニーズがたくさんあります。ボランティアは、炊き出し、救援物資の配布などたくさんの人手を必要とします。

●ボランティア活動に参加するには

「手伝いたい」「参加したい」の思いがあれば誰もが参加できます。

関心のある方は、地域のボランティア団体を訪ねるなど、積極的に参加するのもよいでしょう。

●助け合う気持ち大切です

災害時には自分自身の安全確保とともに、近所の人との助け合いが非常に大切です。



本年5月 住宅型有料老人ホーム「あんしんかん」がOPEN

当院では、5月に病院を運営する医療法人では千葉県で初めてとなる住宅型有料老人ホーム（54室）の運営を始める事となりました。これからの高齢者住宅に新しい「安心」をお届けできるものと存じます。（1ページ下のパースが完成予想となります。）

建物は順調に建設中です。（右の写真）

「あんしんかん」は斎藤労災病院のほぼ隣りに位置し、施設内には診療所、通所リハビリテーション、訪問看護、訪問介護といった事業所の設置を予定しています。これまで介護度・医療依存度が高く、他の施設で入所が出来なかった方にも「安心」で「快適」な住まいの提供をしてまいります。

入院が必要となった場合は斎藤労災病院にてケアをいたします。病院を運営させていただいているノウハウの全てをこの「あんしんかん」で発揮し、これからの高齢者住宅として、皆様に「安心感」をお届けできるものと存じます。

皆様のお問い合わせをお待ちしています。

開設準備室のご案内 電話：043-227-7456

担当：海保（かいほ）、原、武井

斎藤労災病院 あんしんかん

検索

ホームページもご覧ください



現在建設中です。（H21年1月17日撮影）



開設準備室では日々、準備の為、ミーティングを重ねています。

平成20年度 医療安全強化週間の報告

今年度も医療安全強化週間を実施いたしました。

今年度でこの週間も3度目となり院内の定例行事として定着しました。

一週間という短い期間ですが、各部署において医療安全に対する意識を統一させる意味で、非常に貴重な活動となっております。

医療安全というと皆さんはどの

ような事をご想像されますか？医療事故や医療訴訟といったネガティブな印象をお持ちの方もいらっしゃるかと思います。

私たちは事故を起こさないようにする為、日々の意識付けと作業環境の改善、法令遵守の徹底と院内勉強会を大切にしています。

安全活動は日常生活にも役立つ事が多く、職員は自分自身の為にもと、積極的に学んでいます。



週間中の朝礼

部署紹介 ～快適な施設を～ 施設管理課

施設管理課には現在3名のスタッフが在籍しており、日々業務に当たっております。業務内容は、建物、ライフライン、各種設備、備品の維持管理や医療廃棄物の適正処理、送迎業務など多岐にわたります。私達の業務は患者さんや受診者の皆さんの目には付きづらいところではありますが、こうした部分をしっかり見守り、適切に管理することことがより良い医療の質につながるものと考えております。

また今年の5月には当院隣に「あんしんかん」も完成し業務量も増加するところですが、安全で快適に過ごせる施設となるよう日々励んで行こうと決意を固めたところでもあります。これからもよろしくお願いいたします。加えて「ここはこのようにしたらもっと快適では？」等、改善したほうが良いと思える点がございましたら、ご遠慮なく私達に皆様の声を聞かせてください！



当院施設の事なら何でも相談を施設管理課のメンバー

患者さんに知って欲しい医療用語集



■ プライマリ・ケアってなんだろう？

プライマリ・ケアとは「患者さんが最初に接する医療の段階」と訳されます。まずは患者さん自身、または患者さんのご家族の健康状態を把握している身近な医師・『かかりつけ医』に相談し、適正な診断処置、または適切な専門病院の診療科を紹介してもらい、治療をすすめていくことが病気を治していく近道となるのです。

■ インフォームドコンセントって？

患者さんが自分の状態を理解し、納得して医療行為を受けられるよう、医師が治療説明（治療方法・意味・効果・危険性・今後の予想や治療費など）を行い、そのうえで患者さんが治療方法を自分で決めることをいいます。

■ インフォームドチョイスって？

患者さんが自分の意思で選択し、納得して治療を受けられるよう、医師が1つの治療方法を押し付けるのではなく、可能な限りの治療方法・手段・それに伴うメリット・デメリットを提供し、その中から患者さんが自らの意思で選択していくことを言います。

■ セカンドオピニオンって？

「主治医以外の医師の意見」という意味です。主治医が提示した治療法方法の選択肢や、何か重大な決断をしなければならないとき、主治医以外の医師に意見を求め、自分により適した治療方法を選択していくことが大切です。

～病院からのお知らせ～

- 領収書の再発行には手数料（1ヵ月単位1枚300円）を頂いております。
領収書は大切に保管して下さい。
- 千葉市のがん検診は2/28、特定健診は3/31までの受付となっております。お早めにお申込み下さい。
- 保険証の確認にご協力をお願い致します。
- 当院へのご意見は院内の「ご意見箱」をご利用ください。

編集後記

- 寒さも一段と厳しくなり、インフルエンザの時期になりました。十分な栄養と休養、手洗い、うがい、健康管理をするように心がけましょう。（〇）
- 今年も始まりました。1月は「あっ」という間に過ぎていきます。1日1日を大切に過ごしたいと思います。5月OPENの「あんしんかん」の準備をしていますが時間の経過がとても早く感じています。（T）
- 「今年こそ」誓いつづけて何十年。。。 (匿名編集員)

院内意見箱設置箇所

- A病棟・・・1階エレベーターホール付近
- A病棟・・・3階エレベーターホール付近
- C病棟・・・2階B棟連絡通路付近
- E病棟・・・1階エレベーターホール付近
- 健康管理センター棟・・・2階トイレ付近



発行者



医療法人 福生会
斎藤労災病院

千葉市中央区道場南1-12-7
代表電話 043-227-7437

ホームページもご覧ください
<http://www.saito-rosai.or.jp>